

ゴードン恵美「レターカッティング入門ワークショップ」2026 【経験者コース】

■ コースの概要

経験者コースでは参加者個人それぞれの課題により深く取り組みます。前回のワークショップでやり残した課題の継続に加え、個人的に挑戦してみたい彫りの技術や石で作品を作る上でのデザインのポイント及び問題点への対策、そしてこれまでのワークショップで紹介した様々な技術（色付け、Gilding、Bead Mould 等）についてを再確認します。今回のコースでは特に、チズルの角度と彫り跡の関連について詳しく見ていきます。

■ コースの目的

個々の作品をより深いレベルで探求し、繊細なおかつ複雑な彫る技術に挑戦し、レターカッティングの表現の可能性の幅を広げていきます。また、参加者それぞれが抱える制作上の問題点等を話し合いながら、参加者自身で最適な解決策を選択していく方法を探っていきます。

■ コースの宿題（下記のうちから選択し、事前クリティークに参加してください。

事前クリティークはワークショップでより多くを学ぶ準備のために行われます。）

1. 宿題なし。前回のワークショップで下書きしてから、まったく、もしくはあまり彫り進んでいないので、ワークショップでは前回の石を持参して彫るのを続ける。もしくは今現在作業をしている石を持参して彫るのを続ける。

事前クリティークで、進捗状況を報告し、問題点などがあれば相談する。

2. 彫ってみたい文章及び石を探し、その文書のデザインをレイアウトペーパーに描いてご持参下さい。そして、彫る予定の石もご持参下さい。

石は基本的にはどんな石を使ってもかまいませんが、御影石（英語では Granite）は硬すぎて手彫りには向いていませんので、それ以外の石、例えば、大理石、スレート、砂岩（英語では Sand stone）、石灰石（英語では Lime stone）などをお勧めします。

3. ローマンキャピタル26文字を原寸大でデザインしてレイアウトペーパーに描いてご持参下さい。また、そのキャピタルを彫る予定の石もご持参ください。

4. レリーフ（Relief）事前にどんなレリーフを彫ってみたいかご相談下さい。

* 彫りたい石によって用意していただく持ち物が多少違ってきますので、どんな石を使った作品を作るかを必ず事前に講師（emi@emigordon.com ◎を@に変換）までご連絡ください。作品によっては石を注文するところから始めなければなりません。申込み後すぐにご連絡ください。ご連絡が遅くなった場合は希望の石を彫る事ができない場合があるかもしれません

ません。よろしくお願ひします。

■ 当日の持ち物

レイアウトパッド、キッチンペーパー1ロール、カッターナイフ、カランダッシュ
(CARAN d'ACHE) 社の水彩用色鉛筆の白を2本 (カランダッシュ社のものが手に入らない場合は日本製の水彩用鉛筆でもかまいません)、HBの鉛筆2本、定規、三角定規、白または黄色のチャコペーパー (文字を石に写すため)、エアーパッキンまたはプチプチの包装用ビニール (石を保護するため) 100 x 100 cm を2枚、マスキングテープ、砥石 (スチール製可)、シャコ万力 x 2 最大口開きが100 mm (またはB型クランプ)、紙ヤスリ (耐水サンドペーパー)、鑿 (チズル)、ダミー、これまで作成した石の作品 (写真可ですが、実物をご持参いただけすると参加者全員がより深く学べます。) 各自のイーゼルをお持ちください。